

ちいきん会

「ローカル10,000プロジェクトの紹介」

地域の資源・資金の活用による地域密着型事業 立上げサポート

総務省 地域力創造グループ 地域政策課 企画第一係長
富永啓治

in 福島

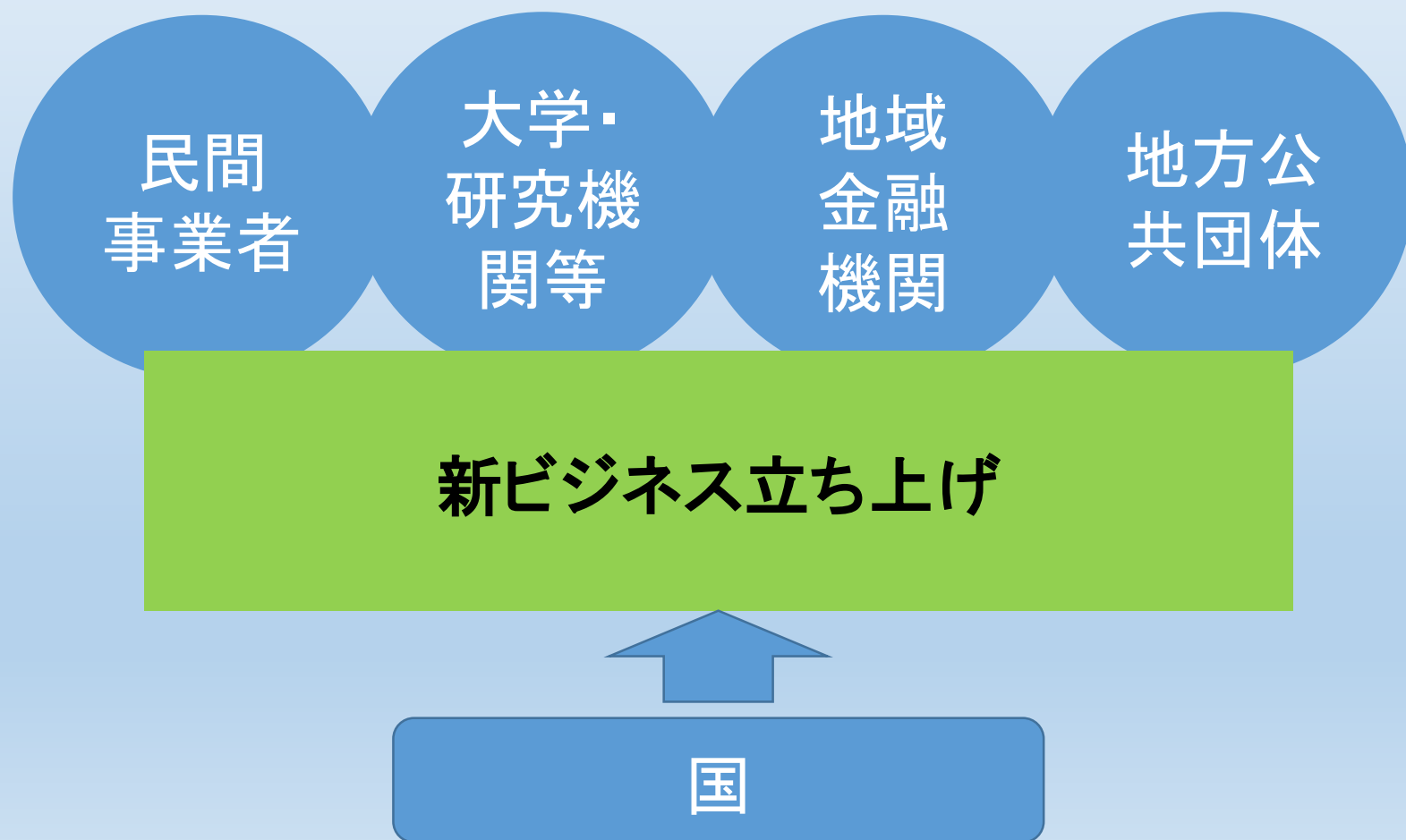
ローカル10,000プロジェクト

(地域経済循環創造事業交付金)

令和元年11月9日
総務省地域力創造グループ地域政策課
富永 啓治

◆ローカル10,000プロジェクトとは

- 産学金官の連携により、地域の資源と資金を活用して、雇用吸収力の大きい地域密着型事業の立ち上げを支援



◆ローカル10,000プロジェクトの支援対象

●民間事業者の初期投資に要する経費を支援

支援対象となる経費は、

- ・施設整備費
- ・機械装置費
- ・備品費

◆ローカル10,000プロジェクトの財源スキーム

- 公費による交付上限額：原則2,500万円
(国 1 / 2・地方 1 / 2)
一定の要件を満たせば、上限5,000万円に引上げ
- 公費を上回る地域金融機関による融資等
(無担保・保証)

※融資のほかに、地域活性化のためのファンド等からの出資も可

- 自己資金等

Ex) 初期投資額4,500万円の事業であれば、

国 1,000万円	地方公共 団体 1,000万円	地域金融機関融資等 2,000万円	自己 資金 500万円
--------------	-----------------------	----------------------	-------------------

◆ローカル10,000プロジェクトの実績

●平成30年度末時点で

・377事業交付決定（242団体）

【東北6県 49事業（33団体）】

・公費交付額	110億円
地域金融機関融資額	151億円
自己資金等	46億円

●令和元年度予算額 10億円

◆ローカル10,000プロジェクトの活用事例①

●遊休施設（古民家等の空き家、廃校等）の有効活用

・空き家となった古民家を改修し、地域食材を使ったメニューを提供する宿泊施設やレストランへ改修



・廃校を地元農産物の加工施設に改修。地場産品を活用した新商品開発や販路開拓



◆ローカル10,000プロジェクトの活用事例②

●観光拠点の整備

- ・しまなみ海道のサイクリスト向けに、拠点となる「海の駅」整備、サイクルシップの運行（今治市）



◆ローカル10,000プロジェクトの活用事例③

●地元農作物を活用した6次産業化・新商品開発

・老舗の醤油蔵や酒蔵等を再活用し、地元農作物を活用した高付加価値の醤油・酒等を製造するとともに、体験や見学が可能な産業観光を展開



・糞や加工過程で出る残渣を肥料化・飼料化し、農作物や食肉を生産。農業・畜産の好循環を創出



◆ローカル10,000プロジェクトの活用事例④

●伝統工芸の再生・伝統技術の承継

・地域の伝統産業である織物の伝承のために、新たな工場を整備し次世代を担う職人を育成。インバウンド向けの新商品も製作



◆ローカル10,000プロジェクトの活用事例⑤

●バイオマス、廃棄物等の地域資源を活用したエネルギー事業

- ・地域の未利用材から燃料用チップに加工し、発電施設に販売
- ・石炭採掘時に出た土石を積み上げた山（通称：ズリ山＝廃棄物の山）から採掘可能な石炭を「洗炭」し、販売（夕張市）

